

10月のクラスだよ！

令和4年9月29日
小田原市立酒匂幼稚園

ほし組

朝夕はだいが涼しくなり、過ごしやすい季節になってきました。秋分の日を過ぎ、秋も本格的になってきたようです。十五夜の日には、お月見をした子もいたようで、「うさぎがお餅をついていたよ！」と、自分なりに見たり感じたりしたことを話してくれました。

戸外では“わくわくデイⅠ”に向けて、元気に体を動かす活動を取り入れています。季節の変わり目で体調を崩さないよう、たっぷり睡眠をとり、美味しい物を食べ、実りの秋を十分楽しんでいきましょう。

9月の様子



敬老の日に向けてはがきを届けました♡

19日(月)は、敬老の日でした。「手紙を書きたい！」という子が多かったので、ハガキを出すことにしました。丁度十五夜が近かったので、ウサギの折り紙と満月をハガキに貼付け、メッセージを書き込み出来上がり。「大好き！」「いつもお菓子を買ってくれてありがとう！」と、おじいちゃんおばあちゃんの顔を思い浮かべながら自分なりに考えて書いている子もいました。

後日、「どうやって届ける？」と子どもたちに尋ねてみると、「おじいちゃんとおばあちゃんのところまで届ける。」と答える子、「ポスト！」と答える子、様々でした。「ポストに入れるとお家まで届けてくれるんだよ！」と教えてくれた子がいたので、早速、郵便局のポストまで入れに行くことにしました。

郵便局の方に声を掛けると、外に出てきてくださり、「配達員の方が、来週みんなのおじいちゃんおばあちゃんの家に届けに行くよ！」と教えていただきました。無事に届けてもらえるよう心を込めて「よろしくお祈りします！！」と挨拶しました。子どもたちの思いが無事に届きますように！



わくわくデイⅠに向けて

子どもたちに、「わくわくデイで何をしたい？」と問いかけてみました。すると、「リレー！」「忍者の修行！」「バルーン！」など、いろいろなアイデアが出てきました。アイデアをまとめた結果、①体操 ②忍者修行 ③頑張っていること(挑戦) ④バルーン ⑤全員リレーを行うことに決めました。

また、年長では、係の仕事も行います。年長組になり、何か決めるとき、課題があるときには、皆で話し合うことを大切にしてきました。わくわくデイに関しても、「コロナが流行る前は、小学生やお家の人が準備や片付けを手伝ってくれていたけど、今は難しいみたい。」という話をすると、「自分たちでできる！」「だって皆のわくわくデイだから！」と、声をあげてくれました。具体的には、『言葉を言う係』『体操の見本をする係』『準備片付けの係』などが決まっていきました。それぞれの得意なことを生かして頑張ります。そんな競技以外の様子もお見逃しなく！

当日は、子どもたちが、目標に向かって全力で体を動かす姿や友達と声を掛け合ったり協力したりする姿を見守り、温かい言葉を掛けてあげてください。また、保護者の方も一緒に“わくわく”楽しんでいただけたらと思います。

第1学期からの遊び ～忍者ごっこ～

手裏剣づくりが得意な男の子から始まった忍者ごっこ。手裏剣づくりが得意な子がつくり方を教えてくれ、いろいろな大きさの手裏剣ができました。また、段ボールで敵をつかって剣でやっつけたり、巧技台をつかった修行などを楽しんだりしていました。ときには、外に敵を運び、いつでもどこでも修行に励んでいました。



敵はこうやって倒すんだよ！

棒はこういう風に置いたらどうかな？

秋の遠足でNINJA館へ行ってきました！

第1学期からの忍者の遊びは、第2学期に入っても続いていました。ほし組忍者たちに、NINJAの修行ができる場所があることを伝え、「行ってみたい！！」と、興味津々だったので、遠足で“歴史見聞館NINJA館”に行ってきました。

当日は、電車に乗って、鴨宮駅からいざ出発！改札では、切符を通したり、受け取ったりする経験をしました。前の日に、切符の修行(折り紙を切符に見立てました)を行っていたので、当日も迷うことなく改札口を通ることができました。初めて切符を触った子も、修行のお陰でばっちりです。

NINJA館では、蓮の葉の上を渡る水術が大人気！1回終わっても何度も何度も挑戦している子が多かったです。その他にも、忍び足で廊下を渡ったり、合言葉を探し出したりしてどの修行にも夢中になっていました。修行の後は、美味しい弁当&おやつタイム。「修行の後のお弁当、美味しいね。」と、笑顔でおにぎりを頬張っていました。遊びで城をつくっていた忍者たちは、小田原城を見て、「上のところに魚が乗っているよ。」と、細かいところまで真剣に見ていましたよ。この経験が、今後の遊びや“わくわくデイ”に向けての豊かな経験となったのではないかと思います。



隠れ身の術！？

蓮の葉がぐらぐらするところもあるので、バランスを取りながら渡っていきます。

両手を上下に動かすと手裏剣が出てきます。最後にはボスが出現！思い切り両腕を振って撃破しました！

バルーン遊び

第1学期、バルーンを初めて触った子どもたち。「わー風船だー！」と、中に入ったり出たりを繰り返し楽しんでいました。バルーン遊びには、色々な技があることを知らせると、「やってみよう！」と、挑戦してみることにしました。バルーンは、30人の気持ちが一つにならないと、空気が入ったり、しわができたりして、技が完成しません。皆で気持ちを一つにすることを目標に取り組んできました。自分たちの動きを、ビデオを撮って見せてもらい、少し照れた表情を見せながら、「こんな風になるんだ！」と、更に意欲的に取り組んできました。技が決まったときの子どもたちの表情にも注目してみてください。



リレー遊び

わくわくデイでリレーを行うことに決まると、チーム分けをどうするか尋ねてみました。すると、「グループごとに赤色、黄色の2つのチームに分ける。」という意見が出てきたので、グループごと相談して色を決め、2つのチームで対戦して行きました。しかし、自分が何色のチームが分からない子が出てきました。教師は、「自分のチーム」という意識をもってほしいと願い、チームを最初から考えてみることを提案しました。

すると、「自分でやってみよう色でチームに分かれる！」というアイデアが出て、皆の意見が一致しました。分かれてみると、やはり人数や男女の差が出てしまいます。その都度子どもたちに「どうすればいいかな？」と投げかけ、「それじゃあ、こうしよう！」を繰り返しました。中には、「絶対赤チームがいい！」「8番じゃなきゃ嫌！」と、自分の思いを通す子、涙を流して訴える子もいました。しばらく話し合いを見守っていると、ある子が、「じゃあ、次のリレーのときに絶対8番にしようよ！」と、声を掛けてくれました。友達の悲しそうな表情から、その子なりに考え抜いて出した提案です。子どもたちの中で、相手を思いやる気持ち、課題を自分たちで解決しようとする力が育ってきています。自分たちでつくる“わくわくデイ”までの過程の中で、“自分の力を発揮する力”“最後まで諦めない力”“友達と協力する力”など、子どもたちの様々な育ちが見られます。リレーに負けて悔しい気持ち。それも“次は負けたくないぞ！頑張ろう！”の活力になります。行事を通しての一人一人の成長を大切にしていきたいと思っています。



私は3番がいい！名前書くな！



頑張れー！！

<10月はこんな遊びをしたいな>

☆同じ目的に向かい、友達と一緒に力を合わせて遊ぼう。
☆感じたことや考えたことを、表現してみよう。